



平成30年8月31日
海上保安庁

平成30年度海洋立国推進功労者表彰について

海上保安庁と協働で離岸流の調査等を実施してきた鹿児島大学水産学部「西 隆一郎（にし りゅういちろう）」教授が、本日、「海域の安全利用と離岸流の理解」という内容で海洋立国推進功労者表彰（内閣総理大臣賞）を受賞されました。

海岸から沖に向かう強い流れである離岸流の発生により、毎年マリナー中の海浜事故が発生しています。

このような状況の中、西教授は、我が国の海岸で発生する海浜事故を防止するため、長年にわたり離岸流等の沿岸域の流れに関する調査研究に従事され、その豊富な経験と指導力を持って、海上保安庁による離岸流の調査等に精力的に協力していただいております。（別紙1、2）

同教授は、大きな危険が伴う離岸流の調査に、最新技術であるドローンを導入する等、安全にかつ効率的に離岸流の調査を実施しています。また、調査によって得られた知見を報道機関等に提供することで、一般の方々に対して、「離岸流」に関する普及啓発活動を含む、安心して安全にマリナー等の親水利用を行うための啓発教育を実施しています。これらの活動は、マリナー等における沿岸域の海浜事故から国民の生命をまもることに繋がっています。

今回の表彰は、海上保安庁と協働で実施した活動を含む、これまでの上記下線部の活動が、顕著な功績として認められたものです。

○西 隆一郎氏について

所属：鹿児島大学水産学部教授 副学部長（研究担当）

専門：海岸環境工学、水産海洋学（沿岸域の環境を総合的に保全する研究）

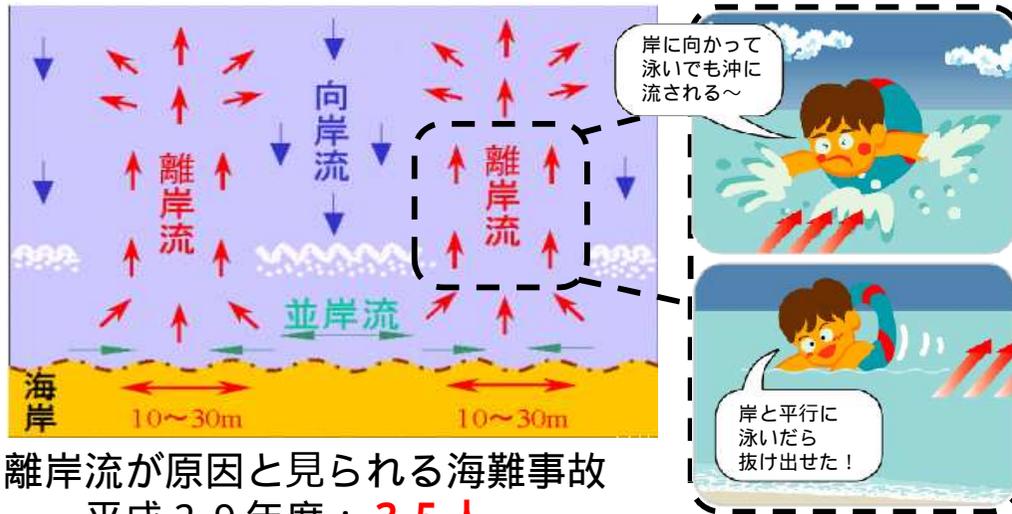
○海洋立国推進功労者表彰について

科学技術、水産、海事、環境など海洋に関する幅広い分野における普及啓発、学術推進、研究、産業振興等において顕著な功績をあげた個人・団体に対する表彰である。

当該表彰は、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省（海事局）、環境省が内閣府（総合海洋政策本部事務局）の協力を得て、平成20年度から毎年実施しており、「海洋立国日本の推進に関する特別な功績」分野から4名以内、「海洋に関する顕著な功績」分野から部門ごとに1名以内、計4名以内、2分野合わせて8名以内が表彰される。

離岸流とは・・・

離岸流は海岸から離れ沖合いに向かう流れのことで、**マリネジャーが盛んな時期には、離岸流により沖合いに流される海難が発生**しています。



調査の目的と方法

離岸流は海域の特性（地形、風等）により流れ方が異なるため、離岸流の発生場所や流動を把握することは、マリネジャーを安心、安全に楽しむために重要です。



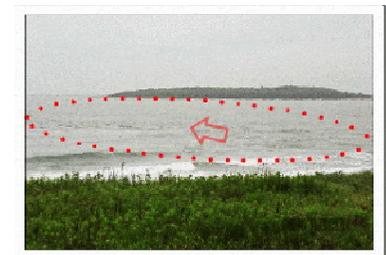
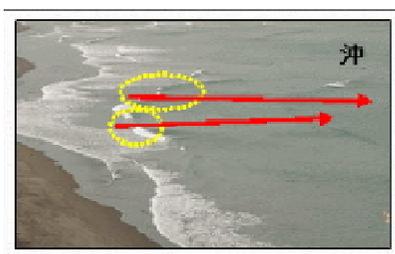
- ・海面着色剤（シーマーカー）を散布し、高所から流れの動向を記録
- ・観測機器を使用した沿岸付近の流況調査

調査結果について

調査結果は海上保安庁海洋情報部のホームページや広報等の啓発活動に用いられ、マリネジャーを楽しむ方々への海難防止に寄与しています。

また、調査結果は各種メディア等で報道されており、社会的に関心を集めています。

資料提供：鹿児島大学 西教授



・海岸線や陸上地形が凸凹している箇所で発生しやすい

・ごみが集まっている場所から沖へ流れやすい

・周囲と比較して波の表面がざわついている

菊ヶ浜海水浴場での離岸流調査

第七管区海上保安本部では、山口県萩市菊ヶ浜海水浴場において、鹿児島大学水産学部西教授の立会いのもと、波打ち際6箇所に海面着色剤（シーマーカー）を投入し、福岡航空基地の航空機により離岸流調査を行いました。

<調査日及び調査区域>

平成30年6月12日 山口県萩市菊ヶ浜海水浴場



(※当庁航空機により撮影)

<調査結果の概要>

菊ヶ浜海水浴場では調査を行った6箇所中5箇所で離岸流が発生しました。



凡例

- : 離岸流が発生
- : 離岸流の発生なし

黄緑色の海面着色剤（シーマーカー）が離岸流によって広がっている様子
(海面着色剤投入30分後)

<調査結果の公表>

今回の調査結果については、第七管区海上保安本部海洋情報部ホームページで情報提供しています。

ホームページでは、航空機及び高所から観測した離岸流の画像や動画などがご覧いただけます。また、離岸流の解説や脱出方法なども掲載しています。

< http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/marin/rigan/rip_current.htm >

